

税の作文・標語

受賞者の紹介

税の意義や役割を正しく理解してもらうことを目的とした「税の作文」「税の標語」の入選作品が決定しました。令和五年度の受賞者のうち、町内中学校生徒、湯浅町在住の生徒を紹介します。

●中学生 作文の部

湯浅町長賞

『バランスのよい世の中に』

湯浅中学校一年

山崎 望花

有田納税貯蓄組合連合会会長賞

『感謝の気持ち』

湯浅中学校一年

西野 哲平

公益社団法人湯浅納税協会会長賞

『私たちが生きる未来に明るい光を』

湯浅中学校二年

石田 悠華

●中学生 標語の部

湯浅町長賞

『納めよう みんなのために 正しい税』

湯浅中学校三年

増田 悠

有田地方租税教育推進協議会会長賞

『納めよう 自分のために 未来のために』

湯浅中学校三年

江川 紫音

●高校生 作文の部

和歌山県租税教育推進連絡協議会賞

『国を支える税』

有田中央高校一年

上野 稜真

湯浅町長賞 受賞

バランスのよい世の中に

湯浅中学校一年 山崎 望花

税金について考えたとき、真つ先に思い浮かんだことがあります。

6月2日の大雨で、私の家のみかん農園の山が、土砂災害にありました。大きな山がけずられて、みかんの木やモノラック、クーラーという消毒を散布するための機械もたくさん流されてしまいました。私も現場に行つてそれを見たとき、うまく言葉にできない気持ちになり、両親が話していたことはウソではないんだなと思いました。もとに戻すには、莫大な費用がかかるそうです。普通の家では支払えないような、工事費がかかるそうです。今、私の家では、役場の人に相談して、どうにかもとに戻す費用を助けてもらえないか考えています。これには、税金が使われることになるので母から教えてもらいました。大事な税金をもらうことは申し訳ないと思うのですが、みかん作りを続けていくためにはとても必要なことなので、仕方ないのかなと思いましたが、今、自然災害があちこちで起こっています。6月2日の大雨では、私の家だけでなく、他の家の山や畑に被害が出たり、家中に水が入って、床下浸水、床上浸水した家があると聞きました。多くの人が困って、助けてほしいと求めている人もあると思います。そんな人たちに、なるべく、もとの生活に近いかたちになつてもらえるよう、平等にきちんと調べて、税金が使われるようになればいいと思います。

「税金」と聞くと、難しい印象で、また、中学生の私には早い話で関係ないように思っ

ていましたが、今回の災害を経験して、税金がどのように使われているのか、少し分かった気がしました。他にも、義務教育で学校に通えるなど、無意識に税金のお世話になっていることに気が付くことができました。

その税金の費用を負担する人が減ってきていると、学校で学びました。少子高齢化が進んでいることが原因だそうです。私の近所の小学生の人数も、どんどん減っています。私も小学生のときの同級生は、2人でした。近所には、おじいちゃん、おばあちゃんが多いです。どうして子供が少ないのかなと考えます。子供が多い方が、友達もたくさんいて、楽しく、にぎやかになるのになと思います。前に、テレビで、子供を産みたいと思つていてる人が少ないというニュースを見ました。とても驚きましたが、育てるために必要な収入を稼げる人が少なく、将来が不安な人がそう思っているそうです。

「少子化対策」で、子供を育てやすい環境にするために、税金をうまく使うように考えてくれているそうです。子供も増えて、高齢者も元気に過ごせて、バランスよく生きていける世の中になればいいと思います。



▲表彰式の様子